

株式会社淡野製作所とは



当社は、子どもの頃、運動会や体育の授業でよく見た白いライン。このラインを引くライン引器を 50 年以上つくり続けている会社です。東大阪市で、学校体育用品・陸上競技用品を専門に用器具を製作しています。

2024 年に創業 98 年を迎えます。ライン引は 2018 年に東大阪市を代表するロングセラー製品に与えられる「ヒストリー・プラス」に認定されました。

当社のはじまり

創業は 1926 年（大正 15 年）、創業者が大阪市の市岡で鉄板の曲げ・抜きや溶接加工をする鉄工所をはじめました。スポーツ用品に係わるようになった最初の仕事は、鉄板から野球スパイクの金具をつくり、革底に付ける作業でした。

年代は定かではありませんが、陸上のスパイクピンの作成依頼を受けた縁で、オリンピックの三段跳びの金メダリストの指導で、当時は輸入品であり非常に高価であった陸上用品を日本でつくれば、陸上選手に喜んでもらえるのではないかという思いで、ハードル、砲丸、ライン引器などを作り始めました。

当社の製品

ラインカーやハードル、バレーやテニスの支柱やネットなど学校で使われる用品をご提供しています。自社の工場と東大阪という地域性を生かした協力工場との連携と、永年にわたり培ったノウハウが当社の強みです。また児童を教える先生方や外商員の方のお声を大切にしています。



HIGASHIOSAKA

《ヒストリー・プラス》

東大阪市を代表する 50 年以上の
ロングセラー認定製品



株式会社淡野製作所
代表取締役

淡野 彰夫



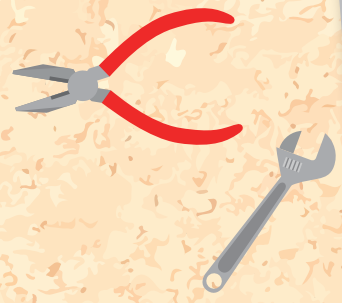
〔組立〕
各材質に特徴がある為、1台
ずつ担当者の手で商品に
仕上げます。



〔溶接〕
社内で可能な限り、溶接・ポー
ル盤・切断機などで金属素材
を加工しております。



〔シート張り〕
自社工場生産することで品質
管理、試作・新製品の企画が
スムーズに対応が可能です。



- 大正 15年 大阪市市岡にて淡野重隆が鉄板の曲げ・
抜きや溶接加工をする鉄工所を始める
- 昭和 20年 大阪大空襲で工場が焼け疎開
埼玉県秩父で鉄工所を再開する
- 昭和 20年代 東大阪市に移転
学校体育器具を作り始める
- 昭和 50年 淡野武彦 代表に就任

- 昭和 51年 法人化
- 昭和 53年以前 日本陸上競技連盟検定品メーカーに認定される
- 昭和 55年 本社ビル施工
- 平成 14年10月 淡野彰夫 代表取締役役に就任
- 平成 20年 日本バレーボール協会認定品メーカーに
認定される

現在に至る